

平成23年 富士見町重大ニュース



渡辺別荘跡地を取得し、公園用地として整備開始



2月18日 渡辺別荘用地を公園用地として取得する。

9月1日 公園名「ふじみ分水の森」に決定する。



南中学校跡地に企業が進出 4月1日

太陽熱利用に独自の技術を有する三鷹光器が、南中跡地に富士見町研究所を設立。地元工業者グループと共同で反射鏡装置の製造組み立てを開始。8月にはNEDOの助成事業採択が決定。

病児・病後児保育事業の開始 4月27日

病気・病気回復期にある子どもを一時的に預かり、保育による支援事業を富士見高原病院内に開設する。



長野県下24カ所の主要スキー場中で富士見パノラマのみ、スキー客が増加 5月 県内スキー場の利用者が3年連続で減少している中、大震災の影響を受けながらもパノラマのみが前年比1.7%増となる。(長野県経済研究所調査)

新規就農者支援が本格化 年間 町内で新たに農業を開始しようとする人材を発掘し、技術習得、農地と農業施設調達、生活支援までをパッケージにした一環支援システムが本格的に運用開始される。

富士見町議会議員改選 4月24日
富士見町議会議員の改選(無投票)
(定数11名の内 新人8名)



図書館貸出数13年連続日本一を達成 年間 同規模の自治体図書館における町民一人あたりの年間貸出冊数が、13年連続で日本一となる。

すくすく広場(母子通園施設)開設 7月1日 子どもの成長に不安を感じる保護者の悩みを解消し、子どもの成長をサポートする支援広場を開設する。

空き家バンクの開設 8月
定住促進のため、宅建協会との協働による住宅検索サービス(空き家バンク)を開設する。